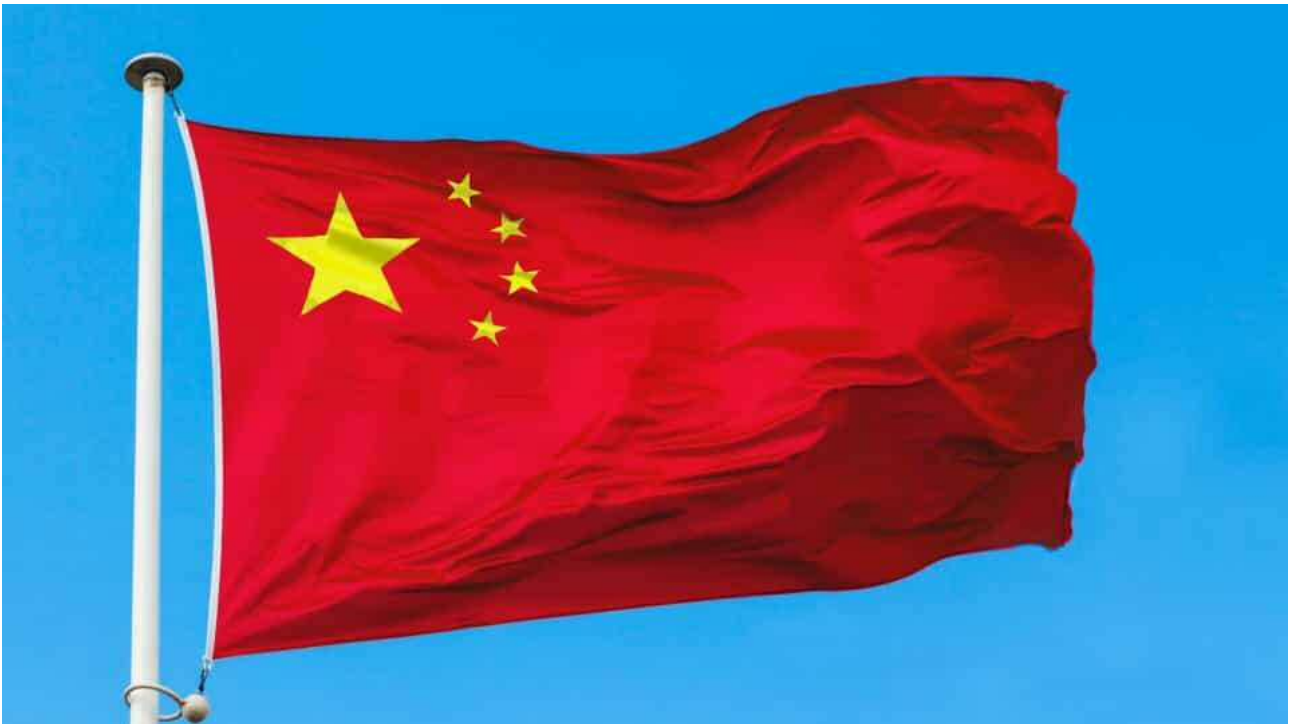


## 中国、隔離期間を7日間に短縮！

JSC 貿易部ニュース 中国編



いつもお世話になっております。

さて、「ゼロコロナ」政策の堅持とともに長引く中国への渡航制限ですが、いよいよ変化の兆しが見えてきました。先日、中国政府は、新型コロナウイルスの感染対策として海外からの入国者に義務づけている指定施設での隔離期間を14日間から7日間に短縮する方針を発表しました。

6月28日に発表されたガイドラインによりますと、これまでホテルなどの指定施設で14日間隔離を経た後も、自宅での健康観察を7日間行うとしていましたが、今後は、指定施設での隔離を7日間行ったあと、自宅での健康観察を3日間でよしとするとのこと。半分になりましたが、それでも長いですね。日本も厳しいですが、中国もなかなかです。

会見では、「決して感染対策を緩和するものではない」として、今後も感染を徹底的に抑え込む「ゼロコロナ」政策を堅持する方針に変わりはないことを強調していましたが、厳しい感染対策によって経済への影響が長引く中、海外とのビジネスの往来などを少しずつでも回復させたいという狙いもあるようです。

[北京 29日 ロイター通信]によりますと、中国政府が新型コロナウイルスの感染対策として入国者に義務付けている隔離期間を短縮すると発表したことを受け、中国で国際線の航空券の検索が急増しているそうです。

---

ニュースから1時間以内に検索件数が2倍以上に増加。国際線の航空券の購入も前週比で60%増加したとのこと。日本、シンガポール、韓国などから中国に向かう便の航空券に対する関心が急増しているらしいです。

しかし、中国に乗り入れる航空会社は搭乗率を40—75%に制限されているほか、新型コロナ陽性の乗客が一定数に達した場合、フライトの停止を求められる「サーキットブレーカー」制度も導入されており、マカオ、香港、台湾への地域便を含む今年の国際線の本数は28日時点で、新型コロナ流行前の4%程度にとどまっているとのこと。

また、航空券の価格も通常の何倍にも達しているそうで、例えば、中国東方航空のシンガポール発・上海着便の7—9月の片道航空券は5万—7万元（7460ドル—1万0594ドル）にもなっているそうです。

---

少しずつ、往来の再開に向けて動き出してはいるのですが、10日間動けないのは無理ですし、チケットもここまで高いと…

以前のように中国に出張に行けるようになるには、もう少し時間が掛かりそうな感じがします。

## 今月の石の紹介

さて、本題の石のご紹介ですが、中国で経済の回復優先の流れが出始めてきているのか？6月号では、「G654長泰」の再開？をレポートしましたが、停止に追い込まれていた石の採掘が再開するかもしれないというようなニュースが、また出てまいりました。

今度は「中国ロイヤルブラウン (RB)」に関するご報告です。知らない方もおられるかもしれませんが、この石も福建省の石です。何やら三年間の再開許可が下りたとの情報とともに、扎扎实り価格のお知らせが流れてきました。



どういう心境？方針？の変化かはわかりませんが、一時期、当局による環境保全政策によって、どんどん閉鎖に追い込まれていた福建省内の丁場ですが、現地石材業者の粘り強い交渉が実を結び始めてきたのか、復活の動き出てきています。一時は福建省産の中国材がすべて無くなるのでは？くらいの勢いでしたが、以前使っていた石が色々バイバルしてきそうな感じです。

ここ数年、注文毎のように、まずは原石探しとその確保から始めていた私たちからするとありがたい限りです。

せっかく頂いた引き合いや注文を石がないために諦めるなんてこともありましたので、作れる石が増える状況は大歓迎です。

これであとインド黒のお手頃価格の良い石が揃ってくれば云うことなしではあるのですが、そこまでは甘くはありませんね(笑)

最後になりましたが、お盆・お彼岸シーズンに向けて私たち貿易部のメンバーもしっかり皆様のお手伝いしてまいりますので、引き続きご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

では今月も最後までご覧いただきありがとうございました。